

整形外科学総論

【Musculoskeletal System: General】

担当責任者 教授（整形外科学） 酒井 昭典

ねらい

1. 運動器一般の知識を修得する。
2. 基礎医学としての解剖学・生理学と臨床医学としての整形外科学との関連性を理解する。

学修目標

1. 整形外科の歴史と運動器疾患の診察法と治療法を理解する。(II-6)
2. 四肢・躯幹の形態と機能、発生と加齢性変化の概略を述べることができる。(II-1, II-2 II-3)
3. 骨・関節を臓器として理解し、疾患における一般的症状を記述することができる。(II-1, II-5)
4. 外傷・労働災害・スポーツ傷害・小児整形外科の特性を理解し、治療の原則を述べることができる。(II-7, II-8)

事前事後学習の方法

1. 教育要項に記載されている授業項目について、教科書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義資料を熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 毎回の講義において理解度チェックのための小テストを行う。
2. 課題を与え、レポートを提出させる。
3. 小テスト(約8割)とレポート(約2割)の結果を基に、受講態度や出席状況等を加味し、総合的に判断する。
4. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○教科書

井樋 栄二 他 監修 「標準整形外科学 第15版」 2023年（医学書院）

○参考書

大鳥 精司 他 編 「TEXT整形外科学 改訂6版」 2026年（南山堂）

酒井 昭典 他 編 「骨折の治療指針とリハビリテーション」 2017年（南江堂）

P.Tornetta, III. 他 編 「Rockwood & Green's Fractures 第9版」 2020年（Wolters Kluwer）

Frederick M Azar 他 編 「Campbell's Operative Orthopaedics 第14版」 2020年（Elsevier）

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R8.9.30	水	7・8	腫瘍性疾患(小テスト・レポート提出) (骨腫瘍・軟部腫瘍・腫瘍類似疾患・代謝性疾患・その他)	PS	2	5	1～5	鈴木 仁士
10.7	水	7・8	運動器疾患総論(小テスト) (歴史・診察法・治療)と整形外科外傷学	PS	2	5	1～5	善家 雄吉
10.21	水	7・8	手の外科(小テスト) (骨・関節・腱・神経の機能解剖、外傷と疾患)	PS	2	5	1～5	辻村 良賢
10.28	水	7・8	膝関節疾患(小テスト) (変形性膝関節症・膝内障・骨壊死・その他)	PS	2	5	1～5	嵐 智哉
11.18	水	5・6	スポーツ傷害(小テスト)	PS	2	5	1～5	村田 洋一
11.25	水	5・6	股関節疾患(小テスト)(変形性股関節症・ペルテス病・大腿骨頭壊死・その他)・小児整形外科	PS	2	5	1～5	徳田 昂太郎
12.9	水	7・8	骨関節の感染症(小テスト) (骨髄炎・関節リウマチ・骨壊死・骨端症)	PS	2	5	1～5	宇津 朋生
12.16	水	7・8	脊柱・脊髄疾患(小テスト) (腰痛疾患・変形性脊椎症・脊髄症・側彎症・その他)	PS	2	5	1～5	邑本 哲平